

今月は、「仕事と子育ての両立」をテーマとし、平成26年度厚生労働大臣優良賞（ファミリー・フレンドリー企業部門）を受賞されたブラザー工業（株）の若原様によるコラムを中心に、ワーク・ライフ・バランスに関する施策紹介や最新の動き、調査結果等についてお送りします。

.....

（目次）

《コラム》

「当社の仕事と子育ての両立～ブラザー工業株式会社」

ブラザー工業株式会社 執行役員人事部長 若原宏之氏

《制度施策紹介 ～人事担当の皆様へ～》

●育児休業を取得予定の方へ・育児休業給付金を申請予定の事業主の方へ～育児休業給付金の支給率を引上げ【厚生労働省】

《企業事例紹介》

●2013年度版休暇制度事例集【厚生労働省】

《最新情報》

●お知らせ

・新「くるみんマーク」と「プラチナくるみんマーク」が誕生【厚生労働省】（2014年11月） 他

●地方公共団体等の動き

・ワーク・ライフ・バランスに取り組む事業所紹介冊子【秋田県】（2014年11月） 他

●イベント（開催日順に掲載）

・「あおもりワーク・ライフ・バランス」推進トップフォーラム in 青森【主催：青森県】 他

《統計・調査トピックス》

●第12回21世紀出生児縦断調査（平成13年出生児）の概況【厚生労働省】（2014年12月） 他

.....

《コラム》

「当社の仕事と子育ての両立～ブラザー工業株式会社」

ブラザー工業株式会社 執行役員人事部長 若原宏之氏

ブラザー工業では、グループ全体の行動規範である「ブラザーグループグローバル憲章」の「個人に対する信義と尊敬」条項で、「一人ひとりの人格、多様性を尊重し、信義と尊敬

を持って行動します」と定めています。これに立脚し、当社では「ワーク・ライフ・バランス」を、“従業員が安心して生き活きと働き続けられる”ための活動と位置付け、各種取り組みにおいては、「働きやすさ」と「働きがい」を両輪とするよう心掛けています。

これらの考え方にに基づき、仕事と子育ての両立支援においては、法定を上回るような制度を構築・強化することよりも、従業員の意見を傾聴し、真に制度を使いやすくする工夫や、本当の意味での社内理解を進める雰囲気作りに心を砕いてきました。例えば、社内のワーキングマザー有志で構成されている「ブラザー・マザーズ活動」のメンバーたちから、「子どもを保育所に入所させた直後の『慣らし保育』期間を考慮して欲しい」という声が寄せられたため、育児休業の取得可能期間を「子が1歳6か月もしくは1歳を超えた最初の3月31日の翌月末まで」に変更したり、育児休業中も会社とのつながりを持ち、円滑な職場復帰をするためにイントラネットが閲覧できるPCの貸与制度を新設しました。さらに、配偶者の海外赴任に伴う退職者の再雇用制度は、労働組合からの要望を実現したものです。また、男性が育休を取得しやすい雰囲気作りのため、イントラネットや社内報を活用した「育メン」ロールモデルや各種情報の共有にも注力しています。このような取り組みが奏功し、育児休業からの復職率はほぼ100%となっています。

育児との両立支援については定着しつつあるので、今後は、女性活躍推進や介護との両立支援にも注力していきたいと考えています。また、既に導入済のフレックスタイム制度に加え、より柔軟な働き方ができる制度の導入も目指す予定です。

.....

《制度施策紹介～人事担当の皆様へ～》

●育児休業を取得予定の方へ・育児休業給付金を申請予定の事業主の方へ～育児休業給付金の支給率を引上げ【厚生労働省】(2014年4月)

育児休業給付金(休業開始前賃金の50%を支給)の支給率を、休業開始後6月について67%に引き上げました。

⇒

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11600000-Shokugyouanteikyoku/0000042797.pdf>

.....

《企業事例紹介》

●2013年度版休暇制度事例集【厚生労働省】

年次有給休暇の取得促進に加え、家族のための休暇制度、リフレッシュのための休暇制度、社会と関わるための休暇制度など、働く人の様々な事情に対応した「特に配慮を必要

とする労働者に対する休暇制度」の創設を、企業と従業員の対話から、スタートしませんか。2013年度版事例集では、20社の活動事例について紹介しています。

⇒ ※現在は使用されていません

.....

《最新情報》（原則として、発行月の前月以降に更新された内容を掲載しています。）

●お知らせ

・新「くるみんマーク」と「プラチナくるみんマーク」が誕生【厚生労働省】（2014年11月）

厚生労働省は、次世代育成支援対策推進法の改正に伴い、「くるみんマーク」の見直しを行い、新しい「くるみんマーク」と、「プラチナくるみんマーク」を作成しました。

⇒ <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000066311.html>

・「パート労働ポータルサイト」をリニューアル【厚生労働省】（2014年12月）

厚生労働省では、このたび、パートタイム労働に関する総合情報サイト「パート労働ポータルサイト」をリニューアルし、新たに3つのコンテンツの追加・拡充を行いました。

⇒ <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000067436.html>

・働き方を見直し、男性の家事・育児参画を先導する「キーパーソン」大募集！【内閣府】（2014年12月）

内閣府主催のセミナーを受講後、職場や地域等で「キーパーソン」として働き方を見直しと男性の家事・育児参画を先導していただきます。同時に、キーパーソンを支える職場の上司や地域の先輩等（男女）の「支援者」も募集します。

⇒ http://www.gender.go.jp/policy/men_danjo/keyperson.html

・アイデア募集！「Social Business Idea Contest」【厚生労働省／イクメンプロジェクト推進委員会】（2014年12月）

「男性も女性も働きながら子育てできる社会をつくるための方策」をテーマとして、高専、短大、大学、大学院に在籍する学生からのアイデアを募集しています。（募集期間：12月10日～1月23日）

⇒ <http://www.ikumen-project.jp/socialcontest2014/>

・第16回イクメンの星を選定します！～育休・育児体験談を募集中～【厚生労働省／イクメンプロジェクト推進委員会】（2014年12月）

イクメンプロジェクトでは、イクメンからの育児休業や育児の体験談を募集しています。1月23日までに投稿された体験談の中から、「第16回イクメンの星」を選定し、公表しま

す。

⇒ http://ikumen-project.jp/ikumen_star/invite_16.php

- ・地方のポテンシャルを引き出すテレワークや Wi-Fi 等の活用に関する研究会【総務省】(2014年12月)

総務省では、「地方のポテンシャルを引き出すテレワークや Wi-Fi 等の活用に関する研究会」(座長 須藤修東京大学大学院情報学環長・学際情報学府長)を開催しています。今般、「地方のポテンシャルを引き出すテレワークや Wi-Fi 等の活用に関する研究会 中間とりまとめ」が策定されましたので公表します。

⇒ http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/02ryutsu02_03000193.html

- ・「家族の時間づくりプロジェクト」を拡大実施【国土交通省／観光庁】(2014年12月)

観光庁では、家族の時間を創出し、旅行や地域活動等に有効活用して頂くことを目的に、平成 22 年度より「学校休業日(振替休業日)」(子ども)と「有給休暇」(大人)をマッチングさせる「家族の時間づくりプロジェクト」に取り組んで参りました。この度、来年度以降に本事業を実施する市区町村等の募集を開始しましたのでお知らせします。なお、来年度からは、内閣府に設置された「休み方改革ワーキンググループ」報告書における「ふるさと休日」の提案を踏まえ、これまでの「3 日以上連続した休日の創出」に加えて、「地域のお祭り等のイベントに合わせた柔軟な休日の設定」も対象事業とします。

⇒ http://www.mlit.go.jp/kankocho/news05_000183.html

- ・国家公務員の女性活躍とワークライフバランス推進に係る優良事例集【内閣官房】(平成 26 年 10 月)

国家公務員の女性活躍とワークライフバランス推進のための取組指針(平成 26 年 10 月 17 日女性職員活躍・ワークライフバランス推進協議会決定)とともに提示された別添資料です。他府省等において参考となるものを優良事例としてまとめています。

⇒ http://www.cas.go.jp/jp/gaiyou/jimu/jinjikyoku/w_lifebalance/pdf/kettei_jirei.pdf

●地方公共団体の動き

- ・ワーク・ライフ・バランスに取り組む事業所紹介冊子【秋田県】(2014年11月)

男女が共に働きやすい職場環境づくりを促進するため、ワーク・ライフ・バランスに取り組む県内の事業所を紹介する冊子を作成しました。本冊子では事業所で働く従業員の姿に焦点をあて、仕事と生活を充実させ、自分にあったライフスタイルを実現している事例を紹介していますので、是非ご覧ください。

⇒ <http://www.pref.akita.lg.jp/www/contents/1415155899774/>

・第4回とくしまのイクメン大募集【徳島県】(2014年12月)

徳島県では、男性が仕事と育児を両立することができる社会づくりを促進するため、徳島県在住の「イクメン」の方や、「イクメンを促進している企業・団体の方」、また、身近な父子等を題材にした「イクメン川柳」を募集し顕彰します。(募集期間：11月25日～1月30日)

⇒ <http://www.pref.tokushima.jp/docs/2014111800068/>

・男性の子育て応援事業「イクボス講座」(筑豊地域、北九州地域)を開講【福岡県】(2014年12月)

本県では、少子化の流れを変え、男女がともに子育てをしながら社会で活躍できる環境づくりを目指し、「男性の子育て応援事業」を実施しています。「男性の子育て応援事業」の一環として、事業主や上司の意識改革のため、経営者・管理職を対象とした「イクボス講座」を県内2カ所(筑豊地域：1月21日、北九州地域：1月22日、各地域定員30名)で開講します。

⇒ <http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/ikubosu.html>

・京都市「真のワーク・ライフ・バランス」実践エピソード表彰【京都府京都市】(2014年11月)

京都市では、家族や地域との「つながり」に着目し、京都発の新しいワーク・ライフ・バランスの考え方を提案しています。この度、「真のワーク・ライフ・バランス」の考え方を、具体例を通してより多くの方々に知っていただくため、実践エピソードを募集し、御応募いただいた作品の中から、より詳しく市民の皆様を紹介したい作品を選定し、平成26年度「真のワーク・ライフ・バランス」実践エピソード表彰として表彰します。

⇒ <http://www.city.kyoto.lg.jp/bunshi/page/0000175189.html>

・アドバイザーのご紹介【福岡県北九州市】(2014年11月)

北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会では、新たにワーク・ライフ・バランスに取り組もうとする事業者や、その充実を図ろうとする事業者に対し、助言や情報提供等を行うワーク・ライフ・バランス推進アドバイザー(社会保険労務士)を派遣します。

⇒ <http://wlb-kitakyushu.jp/relation/>

●イベント(開催日順に掲載)

・「あおもりワーク・ライフ・バランス」推進トップフォーラム in 青森【主催：青森県】

日時 1月8日(木) 13:30～15:30

場所 青森国際ホテル 2階 春秋の間

基調講演 「未来工業におけるワーク・ライフ・バランス」

未来工業（株）代表取締役社長 山田雅裕氏
トップ対談 パネリスト 未来工業（株）代表取締役社長 山田雅裕氏
（株）みちのく銀行 代表取締役会長 杉本康雄氏
コーディネーター 弘前大学学生就職支援センター
副センター長 小磯重隆氏
対象 ワーク・ライフ・バランス推進に関心のある県内企業の経営者・管理職等 100名
参加費 無料
⇒ <http://www.pref.aomori.lg.jp/life/danjo/H26WLB-forum-in-aomori.html>

・学習オーガナイザー養成研修【主催：独立行政法人国立女性教育会館（NWE C）】
「男女共同参画の視点をもったキャリア開発」をテーマとした体系化された学習プログラムを企画・実施する「学習オーガナイザー」を養成する研修を開催します。
日時 1月14日（水）～16日（金） 2泊3日
会場 国立女性教育会館
対象 研修・学習事業、女性のキャリア開発、女性の活躍促進に係る事業等の経験を有するとともに、エンパワーメントを図りたい方（経験年数おおむね3年以上）
参加費 無料（別途、宿泊費、情報交流会費がかかります）
⇒ <http://www.nwec.jp/jp/program/support-el/2014/page03i.html>

・平成26年度「女性のチカラは企業之力」普及推進地域ワークショップ～女性の活躍と「イクボス」のススメ～【主催：宮城県】
日時 1月16日（金）14:00～16:30
場所 漁信基ビル7階702会議室
プログラム 基調講演「女性の活躍と「イクボス」のススメ」
講師 NPO法人ファザーリング・ジャパン理事 川島高之氏
対象 中小企業の経営者 30人
参加費 無料
⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/site/kyousha/tikara-work.html>

・平成26年度女・男フォーラム【主催：佐賀県佐賀市】
日時 1月18日（日）13:30～16:00
場所 佐賀市保健福祉会館（ほほえみ館）
内容 第1部 基調講演
テーマ「介護と仕事の両立について」
講師 介護・暮らしジャーナリスト 太田差恵子氏
第2部 実践講座

テーマ「介護の予防とコツについて」

講師 佐賀県在宅生活サポートセンター 副所長 中西美枝子氏

参加費 無料

⇒ <https://www.city.saga.lg.jp/contents.jsp?id=42924>

・目指そう！働きやすい職場環境～メンタルヘルス対策とワーク・ライフ・バランスの推進～【主催：埼玉県】

(1)

日時 1月20日(火) 14:00～16:00

テーマ 「職場のメンタルヘルス」

講師 国際EAPコンサルタント、産業カウンセラー 宮川浩一氏

(2)

日時 1月27日(火) 14:00～16:00

テーマ 「ワーク・ライフ・バランスの推進」

講師 社会保険労務士、中小企業診断士 樋野昌法氏

場所 所沢市役所 低層棟 3階 全員協議会室

定員 50名

参加費 無料

⇒ <http://www.pref.saitama.lg.jp/site/rodoseminar/h26-tokorozawa.html>

・ダイバーシティ・マネジメントセミナー【主催：(一社)日本経済団体連合会、内閣府】

日時 1月21日(水) 13:00～16:30

場所 リーガロイヤルホテル(大阪) 桐の間

基調講演 「ダイバーシティ時代の働き方～職場の働き方改革～」

(株)ニッセイ基礎研究所 主任研究員 松浦民恵氏

事例報告 第一生命保険株式会社

ワークショップ

※事例報告・コーディネータおよびワークショップ・ファシリテータ

日経BP社 執行役員 麓 幸子氏

対象 管理職の方、ダイバーシティ担当者 100名

参加費 無料

⇒ <http://wwa.cao.go.jp/wlb/event/meeting.html>

・中国地方輝く女性活躍フォーラム in とっとり【主催：鳥取県、輝く女性活躍加速化とっとり会議、(一社)中国地域ニュービジネス協議会】

日時 1月23日(金) 13:30～16:40

場所 ホテルニューオータニ鳥取 アクティビル3階「鶴の間」
内容 オープニングメッセージ
鳥取県知事 平井伸治（予定）
特別講演「女性が輝く未来へ」
ゲストスピーカー （一社）東京ニュービジネス協議会長、
（株）ミス・パリ代表取締役 下村朱美氏
企業トップメッセージ 輝く女性活躍加速化とっとり会議 会長 藤縄匡伸氏ほか
鳥取の輝く女性事例発表 県内で活躍する女性たちが登壇
トークセッション「鳥取の輝く女性」×「中国地方の輝く女性」
定員 100名
参加費 女性 3,600円、男性 4,200円（飲食代）
⇒ <http://www.pref.tottori.lg.jp/241880.htm>

・ワークライフバランスフェスタ東京【主催：東京都】

日時 1月29日（木）10:00～17:00
場所 東京国際フォーラム 展示ホール2
基調講演「経営に直結するワークライフバランスとは」
合同会社 THS 経営組織研究所 代表社員、
應義塾大学 SFC 研究所上席所員（訪問） 小杉 俊哉氏
認定状授与式、認定企業紹介
パネルディスカッション「ワークライフバランス実践に向けた壁の破り方」
過去の認定企業に学ぶ「お悩みカウンセリングステージ」
入場料 無料
⇒ <http://wlb-festa.metro.tokyo.jp/>

・平成26年度時事的課題セミナー【主催：首都大学東京、東京都】

(1)

日時 1月29日（木）18:30～20:30
テーマ 「仕事と介護～今求められている企業の取組とは（前編）～」

(2)

日時 2月6日（金）18:30～20:30
テーマ 「仕事と介護～今求められている企業の取組とは（後編）～」
講師 三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株） 主任研究員 矢島洋子氏
場所 首都大学東京飯田橋キャンパス
対象 事業主、人事労務担当者、テーマに関心のある方
参加費 無料

⇒

http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/seminarform/index/detail?kanri_bango=seminar-zc-huo-000547

・平成 26 年度多様な働き方セミナー【主催：東京都】

日時 1月30日（金）13:30～16:30

場所 板橋区立グリーンホール（大山）2階ホール

テーマ 「若者も中高年働き甲斐のある企業になるために
～人材確保のためのワークライフバランス～」

講師 社会保険労務士、グラス社労士事務所所長 新田香織氏

対象 使用者、人事労務担当者、その他関心のある方 100名

参加費 無料

⇒

http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/seminarform/index/detail?kanri_bango=seminar-ouji-000110

・婚活シンポジウム「真のワーク・ライフ・バランス」今、なぜ婚活なのか？【主催：京都府京都市】

日時 1月31日（土）13:30～16:30

場所 京都市男女共同参画センター ウィングス京都 イベントホール

内容 第1部 基調講演 中央大学文学部教授 山田昌弘氏
第2部 パネルディスカッション

対象 京都市内に在住又は通勤・通学している方

定員 240名

参加費 無料

⇒ <http://www.city.kyoto.lg.jp/bunshi/page/0000175096.html>

・企業経営者向けセミナー「経営者、人事労務担当者向け ワーク・ライフ・バランス講演会【主催：神奈川県労働局、神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市】

日時 2月10日（火）14:00～16:00

場所 川崎市役所 第4庁舎 2階ホール

テーマ 「男性も育児・介護がしやすい職場づくりに向けて～経営戦略としてのワーク・ライフ・バランス～」

講師 内閣府少子化危機突破タスクフォース政策推進チームリーダー
東レ経営研究所 研究部長 渥美由喜氏

対象 企業経営者や人事労務ご担当者のほか、ご関心のある方 270名

参加費 無料

⇒ <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f500014/>

・平成 26 年度労働問題セミナー【主催：滋賀県】

日時 2月10日(火) 14:00～16:30

場所 コラボしが 21 6階 労働福祉セミナー室

内容 講演「トラブル事例から学ぶ労働関係法令の基礎講座」

講師 特定社会保険労務士 福谷丞太郎 氏

対象 現在求職中の方、勤労している方、人事労務担当者など 50名

参加費 無料

⇒ <http://www.pref.shiga.lg.jp/f/rosei/roudoumondai-seminar/20141215.html>

.....

《統計・調査トピックス》

今回のテーマおよびワーク・ライフ・バランスに関連した調査についてご紹介します。

●第 12 回 21 世紀出生児縦断調査（平成 13 年出生児）の概況【厚生労働省】（2014 年 12 月）

厚生労働省では、このほど、同じ集団を対象に毎年実施している「21 世紀出生児縦断調査（平成 13 年出生児）」の第 12 回（平成 25 年）結果を取りまとめました。調査結果のポイントとして、「母の就業状況の変化」については、

- ・母が有職の割合は第 1 回調査（出産半年後）の 25.2%から年々増加し、前回（第 11 回調査（小学 5 年生））で 7 割超、今回（第 12 回調査（小学 6 年生））では 73.7%と更に増加
- 「子どもの手伝いの状況」については、
- ・女兒の方が男児に比べ、「お米をといたり、料理を作るのを手伝う」、「洗たく物を干したり、たたむ」といった、日常的に行う家事の手伝いをしている割合が高い
- ・父が家事を「よくする」方が、「ほとんどしない・まったくしない」より、子どもが手伝いをしている割合が高い

が挙げられています。

⇒ <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/syusseiji/12/index.html>

●平成 25 年度特に配慮を必要とする労働者に対する休暇制度に関する意識調査報告書【株式会社日本統計センター（厚生労働省委託事業）】（2014 年 12 月）

全国の企業・労働者における「特に配慮を必要とする労働者に対する休暇制度」についての導入等の状況・意識の在り方等の状況を把握することを目的にアンケート調査を実施しました。

・(企業調査) 特別な休暇制度を導入している企業は 56.8%

・(労働者調査) 所属企業に特別な休暇制度が「ある」と回答した労働者は 54.6%

等の結果が得られています。

⇒ ※現在は使用されていません

● 「2014 年度子育て支援策等に関する調査～次世代育成支援対策 10 年の変化と新制度に向けて～」結果を公表【三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社】(2014 年 12 月)

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)は、「子育て支援策等に関する調査 2014」の結果を公表しました。同調査は、「未就学児の父母調査」と「中高生調査」からなっており、中高生調査からは、都道府県・市町村で策定が進められている「子ども・若者育成支援推進法」に基づく計画策定の課題も見えてくる内容となっています。また、平成 14 年度に実施した厚生労働省の委託調査「子育て支援策等に関する調査」との比較分析により、次世代育成支援対策のおよそ 10 年間の子育て家庭の変化も分析対象としています。調査結果を踏まえ、子育て支援及び子ども・若者の育ちについて、以下の提言が行われています。

提言 1. 出産前から地域の人的ネットワークで包括的な支援を!

提言 2. WLBを実現しながら、子育ても仕事も質的に充実させられる社会に!

提言 3. 目指すべき社会像を共有し、子育て家庭を取り巻く施策に一貫性を!

提言 4. 「家+学校+α」3つめの居場所・活動場所の確保を!

提言 5. 他世代共生へ向けて、多様な交流機会の確保を!

提言 6. 若者にとって魅力あるワーク・ライフ・バランスのロールモデルの提示を!

⇒ http://www.murc.jp/publicity/press_release/press_141208

.....
●このメールは送信専用メールアドレスから配信されております。
このままご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

配信中止・配信先変更は、こちらから

<http://www.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/tetsuzuki.html>

バックナンバーはこちらから

<http://www.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/backnumber/index.html>

このメールマガジンへのご意見・ご要望はこちらから

<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0086.html>

□内閣府仕事と生活の調和推進室ホームページはこちらから

<http://wwwa.cao.go.jp/wlb/>

.....

《編集後記》

今年はずいぶん暖冬になりそうだ、と聞いていたのですが連日の気温の低さに驚いています。冬に弱い私にとっては辛い季節なのですが、星がきれいに見えたり、温かい食べ物がとてもおいしく感じられたりするなど、冬ならではの楽しみを見つけながら春を待ちたいと思います。

今年1年間、「カエルジャパン！通信」をお読みくださり、ありがとうございました。来年もよろしく願いいたします。良いお年をお迎えください。(ま)

.....